

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

## 1 参加者

井谷、大川

## 2 山城・ルート

北アルプス 涸沢岳西尾根

## 3 交通手段 車

## 4 行動記録

入山日 2013年11月22日 下山日 2013年11月24日  
11月21日(木): 20:30 神戸→2:00 新穂高温泉 (テント泊)  
11月22日(金): 6:50 新穂高温泉→穂高平避難小屋→10:00 白出沢出合→15:10 2400mテント泊  
11月23日(土): 5:50 2400m宿泊地出発→11:40 3103m涸沢岳→15:00 2400mテント泊  
11月24日(日): 6:30 2400m宿泊地出発→白出沢出合→10:30 新穂高温泉

## 5 山行中の問題点・事故に繋がる要因

- a 予定のルート・日程で行動出来たか 予定ルートをはずれた場合あるいは日程が異なった場合はその理由  
特になし
- c 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す  
特になし
- d パーティーで山行中の事故に繋がる要因について山行後検討したか  
特になし。

## 6 その他ルートに関する情報・気がついた事など

初冬の涸沢岳西尾根に行ってきました。11月下旬なので、雪はそれ程ないかと思っていましたが、新穂高温泉から雪があり、白出沢から先の登りでは50cmから1mほどの積雪がありました。スノーシュを持参しましたが、白出沢から2600mまでは、急登でスノーシュは役に立ちませんでした。平日の山行にもかかわらず私たちの他に2組のパーティが西尾根にトライしていました。1パーティは男性一人に女性二人の3人組。もうパーティは男女のペア。1日目は3人パーティがほとんどを先行ラッセル。2日は私たちと3人パーティで代わる代わるラッセルしました。女性が混じっているのにもかかわらず、ペースは速く岩場もスムーズにこなして行く彼女らの体力と技術に感心しました。

涸西尾根は左側に滝谷の大岸壁、右側に西穂高から奥穂高の稜線を展望する雄大な景色を見ることができます。特に蒲田富士から先の稜線左側は滝谷に垂直に切れ落ちており、間近に滝谷を拝むことができます。今回は天候とメンバーに助けられ涸沢岳までいくことができ楽しい山行になりました。

報告者氏名 井谷 2013年12月03

山行様子→[ブログはこちら](#)

先行パーティー



朝日に染まる滝谷ドーム



北穂高岳



涸沢岳頂上

